

# 湯のまち通信

令和3年  
2021年  
8月  
第184号



なる子ちゃん

【発行】 鳴子温泉観光協会  
宮城県大崎市鳴子温泉字湯元2-1-1  
TEL: 0229-83-3441 FAX: 0229-83-2064  
https://www.welcome-naruko.jp  
公式 Instagram あります

令和3年7月26日  
現在の情報により作  
成しております。変  
りがある場合も予  
めご了承ください。

## 鳴子温泉駅前クリーン作戦

鳴子温泉観光協会では、夏休みシーズンを前に「鳴子温泉駅前クリーン作戦」を7月15日に行いました。この日は霧雨が降る中、地元住民の皆さまや鳴子総合支所職員の方ご協力のもと、鳴子温泉駅、当協会会員の皆さま方に雑草取りやゴミ拾い、外壁等の清掃を行っていただきました。古川駅からはお茶の差し入れをいただきました。古川駅からはお茶の差し入れをいただきました。おかげさまで綺麗な駅前でお客様をお迎えしております。ご協力いただいた皆さまありがとうございます。今後も当協会活動にご協力を宜しくお願いいたします。



ご協力いただいた皆様

## 特別列車「海里」お出迎え

7月3日(土)・4日(日)に新潟〜酒田間を運行する特別列車「海里(かいり)」が東北DC(ディスティネーション)キャンペーン企画団体専用列車で鳴子温泉駅にやってきました。列車到着時には、当協会役員と地域の皆さま、なる子ちゃんが駅ホームでお出迎えを行い、ノベルティとして「なる子ちゃんミニタオル」の配布も行いました。東北DCも残り約2ヶ月。コロナ終息後には東北へ・宮城へ・鳴子温泉郷へお越しただくよう、アピールをしています。

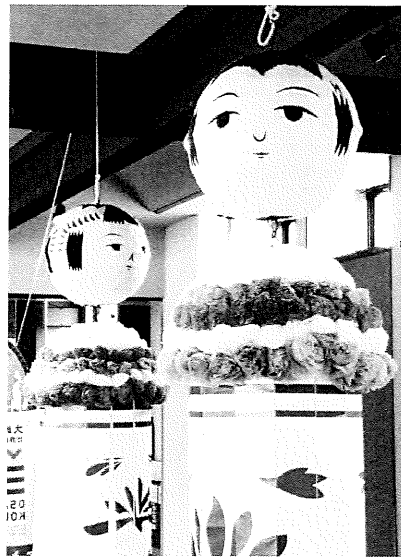


特別運行「海里」お出迎えの様子

## 「けし吹き流しと

駅待合室けしの吹き流し

## 駅構内の飾り付け



毎年7月・8月に鳴子温泉駅の待合室に登場する「けしの吹き流し」が飾られました。お客様に夏の風物詩の七夕飾りを楽しんでいただけよう企画しています。今年は駅のホームに風鈴も飾りました。夏の暑い日には風鈴の音色を聴いて少しでも涼やかな気分になっていただけると嬉しいです。また、待合室や駅の入口にも鳴子支所の方や古川の有志の方に、季節ごとに装飾を施していただいています。誠にありがとうございます。

令和3年度の全国けし祭りは9月4日(土)・5日(日)に開催されます。

新型コロナウイルス感染症対策の為、お祭り広場やフェスティバルパレードなどは中止となり、メイン会場の鳴子小学校体育館の入場も事前申込制になり、申込も締め切りになりました。お越しの際はお気を付けてください。

【全国けし祭りについてのお問合せ】  
実行委員会事務局 TEL 0229-82-2026

## 「快速湯けむり号」運行カレンダー

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		



○印 全車指定席(東北のまつり)  
☆印 全車自由席(一般車両)

上り  
鳴子温泉駅着12時07分  
新庄駅発15時00分  
鳴子温泉駅着16時00分  
仙台駅着17時40分

※観光協会では○印の日曜日に鳴子温泉駅ホームにてハッピを着用しお客様のお出迎えを行っています。お手伝いいただける方は10時50分までに観光案内所までお越し下さい。

## 鳴子温泉盆踊り大会

令和3年度は中止となりました。

お盆期間中のバス運行

☆鳴子〜古川線

令和3年8月13日〜16日（運休）

☆鳴子〜仙台線 高速バス

令和3年8月13日〜16日（休日ダイヤ）

【問合せ】ミヤコーバス古川営業所

Tel 0229-22-1781

☆鳴子〜鬼首線

暦通りに運行します。

【問合せ】大崎市鳴子総合支所

Tel 0229-82-2191

中古こけしオークション

日本こけし館では全国こけし祭りの期間を含めた約1ヶ月間、中古こけしオークションを開催します。

【期間】令和3年9月3日（金）

9月30日（木）

【問合せ】日本こけし館

Tel 0229-83-3600

宮城オルレ 横断幕設置



鳴子温泉駅に宮城オルレの横断幕が設置されました。鳴子温泉駅はオルレのゴール地点なので、良い目印になると思います。



## 《鳴子温泉郷についておさらい企画》第6弾

今回は鳴子温泉郷に様々な言い伝えや伝説が残る平安時代の武将「源義経」について調べてみました。

源義経は鎌倉幕府の初代将軍「源頼朝」の異母弟で幼名は「牛若丸」と呼ばれていました。

平氏との戦いで功績をあげましたが、兄の頼朝と対立してしまい敵とみなされてしまいました。

義経は追っ手から逃れ平泉の藤原氏を頼りましたが、最後には自刃し若い生涯を終えてしまいました。

悲劇的な義経の生涯を多くの人々が哀れんで多くの伝説が生まれました。

### 【義経伝説】

鎌倉の兄頼朝に追われて、源義経が平泉を目指して落ちて行ったのは約800年前（1186年頃）でした。県境の亀割峠まで来た時に同行していた義経の正室北の方がお産をします。大変な難産でしたが、生まれた赤ん坊は男の子で亀若丸と名づけられました。亀若丸はなかなか産声を上げることが無かったのですが、中山越えをして尿前を過ぎ鳴子温泉の地にたどり着いた時、川底から湧き出している温泉を見つけて産湯につからせると、安心した亀若丸が声を上げたそうです。

赤ん坊が泣き声を上げたので、後にそこが「泣き子の里」と呼ばれました。「なきこ」が「なるこ」の語源とも言われています。ちなみに鳴子温泉湯元の温泉神社の石段の傍らに「啼き子の碑」が建っており、その由来が漢文で詳細に刻まれています。川底から湧き出していた温泉は姥の湯と言われています。

### 【甘酒地蔵尊】

中山平温泉にある「甘酒地蔵尊」。義経一行が中山平温泉の軽井沢を通りかかった時、猿の大群と出会い弁慶が北の方のお産で難渋している事を告げると、猿達は小屋を作り甘酒をご馳走したそうです。その後、猿達は弁慶とともに安産祈願・猿達の安全祈願として地蔵尊を建立したと言われています。

### 【弁慶の手もみ道祖神】

鳴子温泉の洞川院にある道祖神様。弁慶が弁天淵の底から大石を掬い上げ一夜にして手揉みして作り上げ里を護る道祖神として山門に据えたという言い伝えがあり、触れると子宝に恵まれ身体頑健になると言われています。この他、星沼伝説や鳴子峡の判官松・亀若松や中山宿の山神、末沢観音堂など源義経一行に関わる伝説が多く残っています。今回ご紹介はできませんでしたが、ご興味のある方はぜひ調べてみて下さい。

※参考文献 鳴子町史など

## 《新型コロナウイルス感染症防止対策情報》

宮城県観光連盟発行の観光安心通信より一部抜粋させてご紹介いたします。現在、飲食店だけでなく個人宅や職場・屋外作業の休憩時において、複数の人数がマスクを着用せず飲食したことにより感染が拡大したと思われる事例が確認されております。政府が示している「感染症リスクが高まる5つの場面」とおり、大人数での飲食は、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、屋内外を問わず感染リスクが高まります。個人宅や職場・屋外作業の休憩時の黙食、会話時のマスク着用の徹底、体調が悪い人は参加しないなどの「感染リスクを下げる工夫」を実践していただきますようお願い申し上げます。ただし、今の暑い時期はマスク着用により熱中症のリスクが高まります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」とマスク、換気などの「コロナ感染防止」を両立させましょう。

引き続き、宮城県は8月31日までは「リバウンド防止徹底期間」となっています。

感染防止対策にご協力をお願いします！